

このまちの100年

「学園前」

大阪電気軌道(現在の近鉄奈良線)は大正3年に大阪・奈良間で開業。沿線で観光地や住宅地の開発、学校誘致などを進めました。昭和16年、帝塚山学園が開校となり、翌年に学園前駅が開設。戦後、奈良線沿線は住宅地としても発展し現在に至ります。



昭和戦前期

建築家・村野藤吾が設計し、昭和4年に開業したあやめ池温泉場。中には余興場もあった



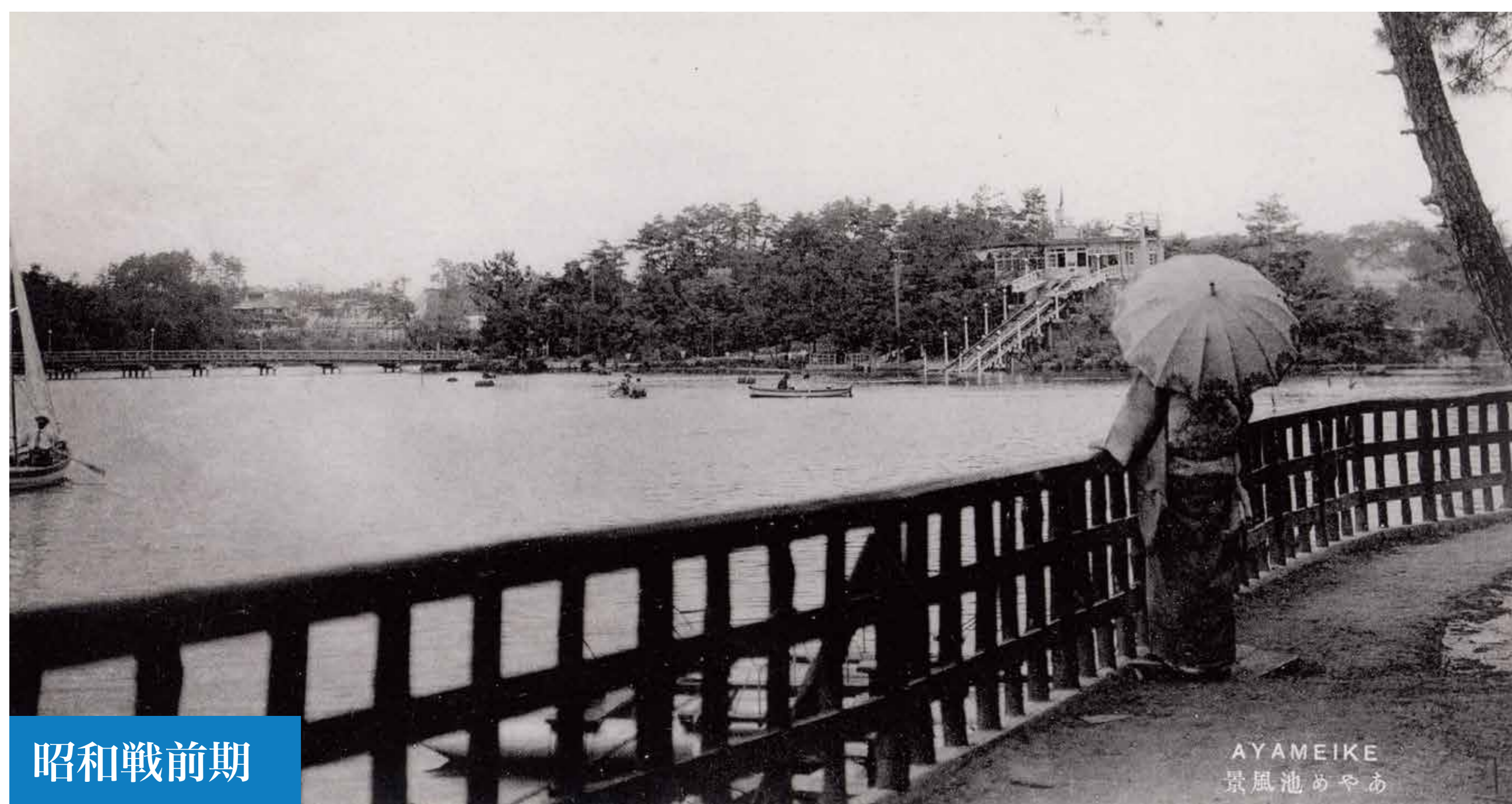
昭和戦前期

大阪電気軌道が昭和4年に開園した生駒山上遊園地。現在も国内最古の飛行塔が残る



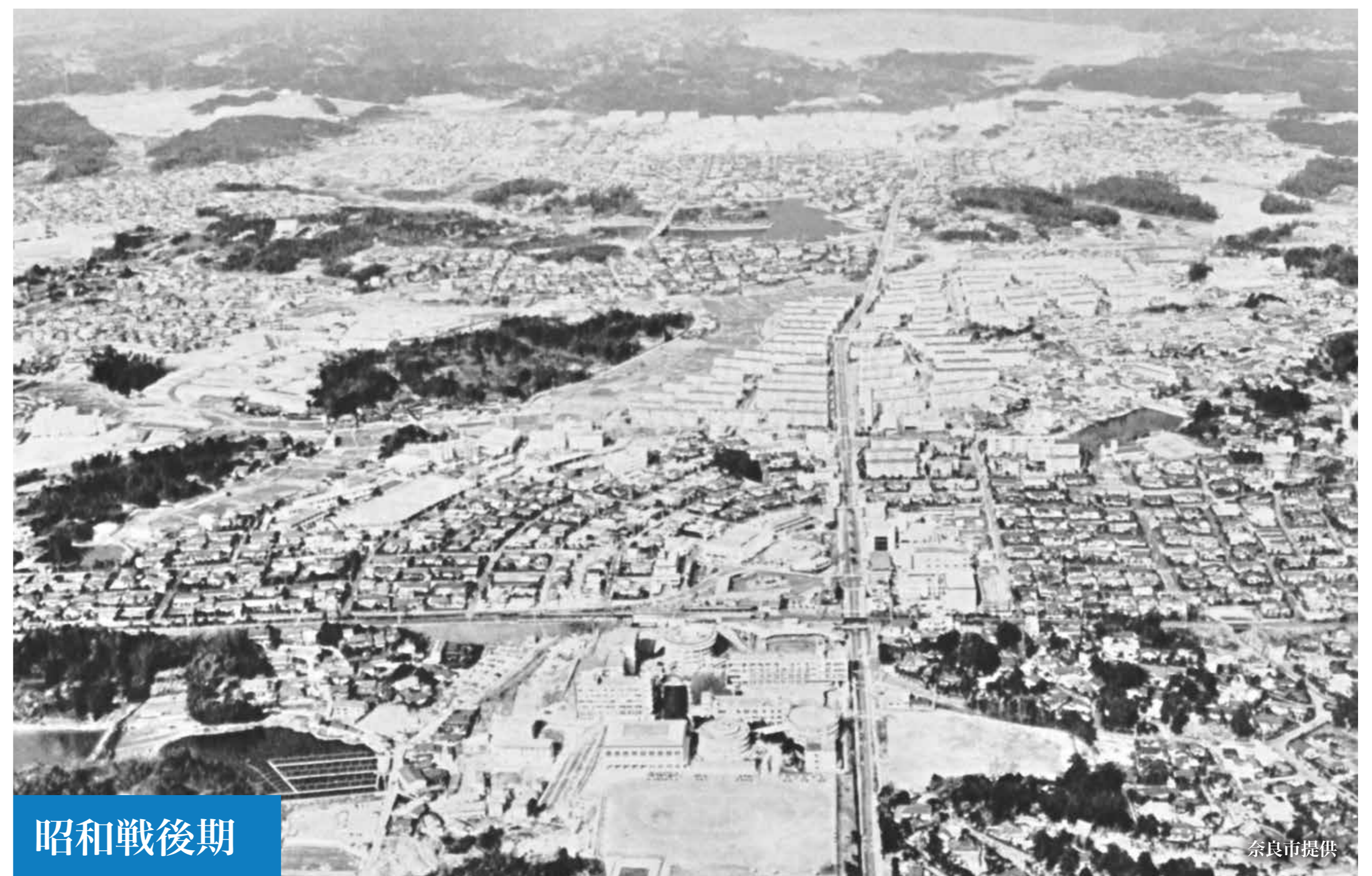
昭和戦前期

日本最初の営業用ケーブルカー、生駒鋼索鉄道



昭和戦前期

大阪電気軌道が大正15年に開園したあやめ池遊園地。右奥にはウォーターシュートも見える



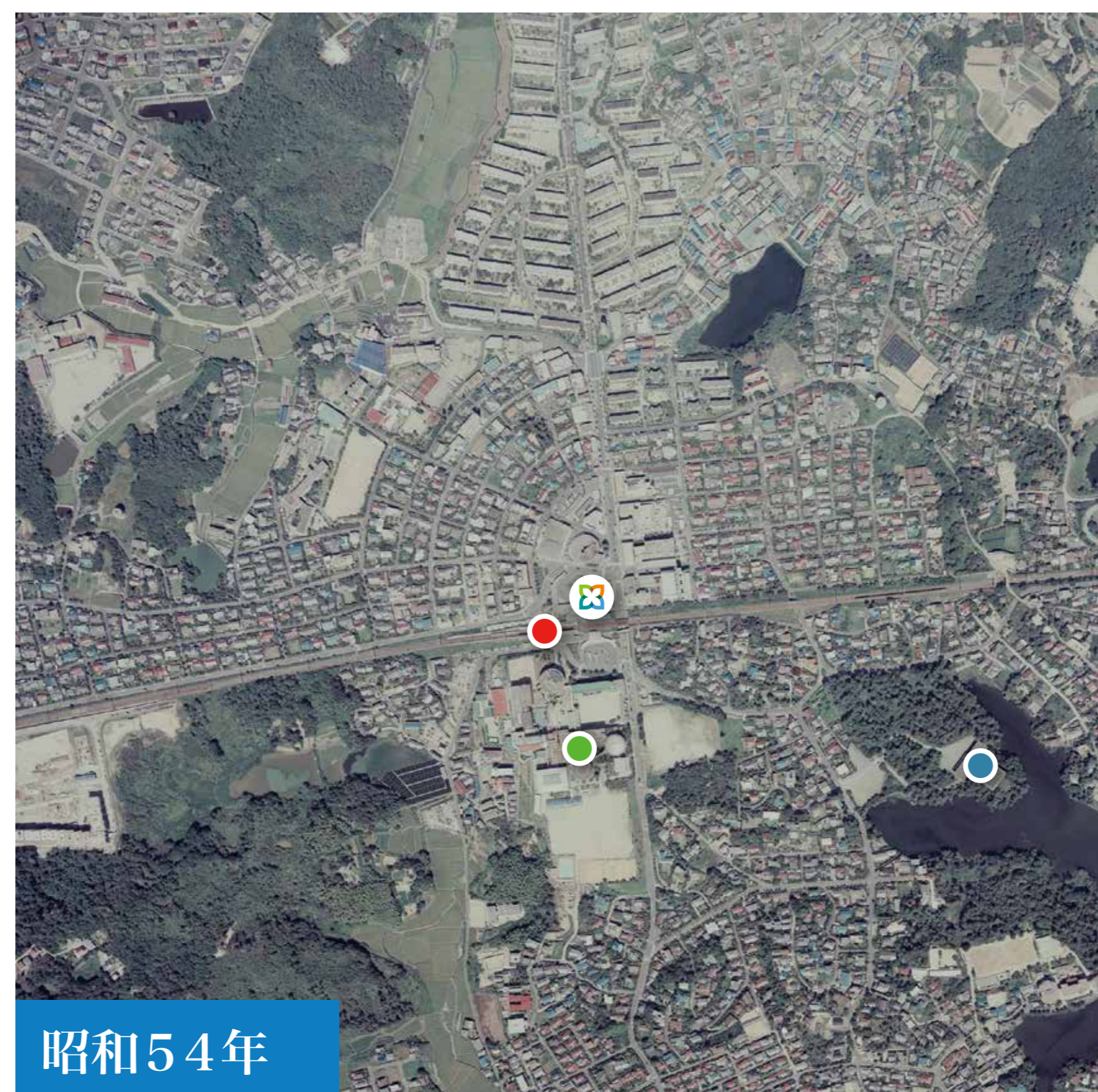
昭和戦後期

昭和25年から学園前住宅地の開発が進められた

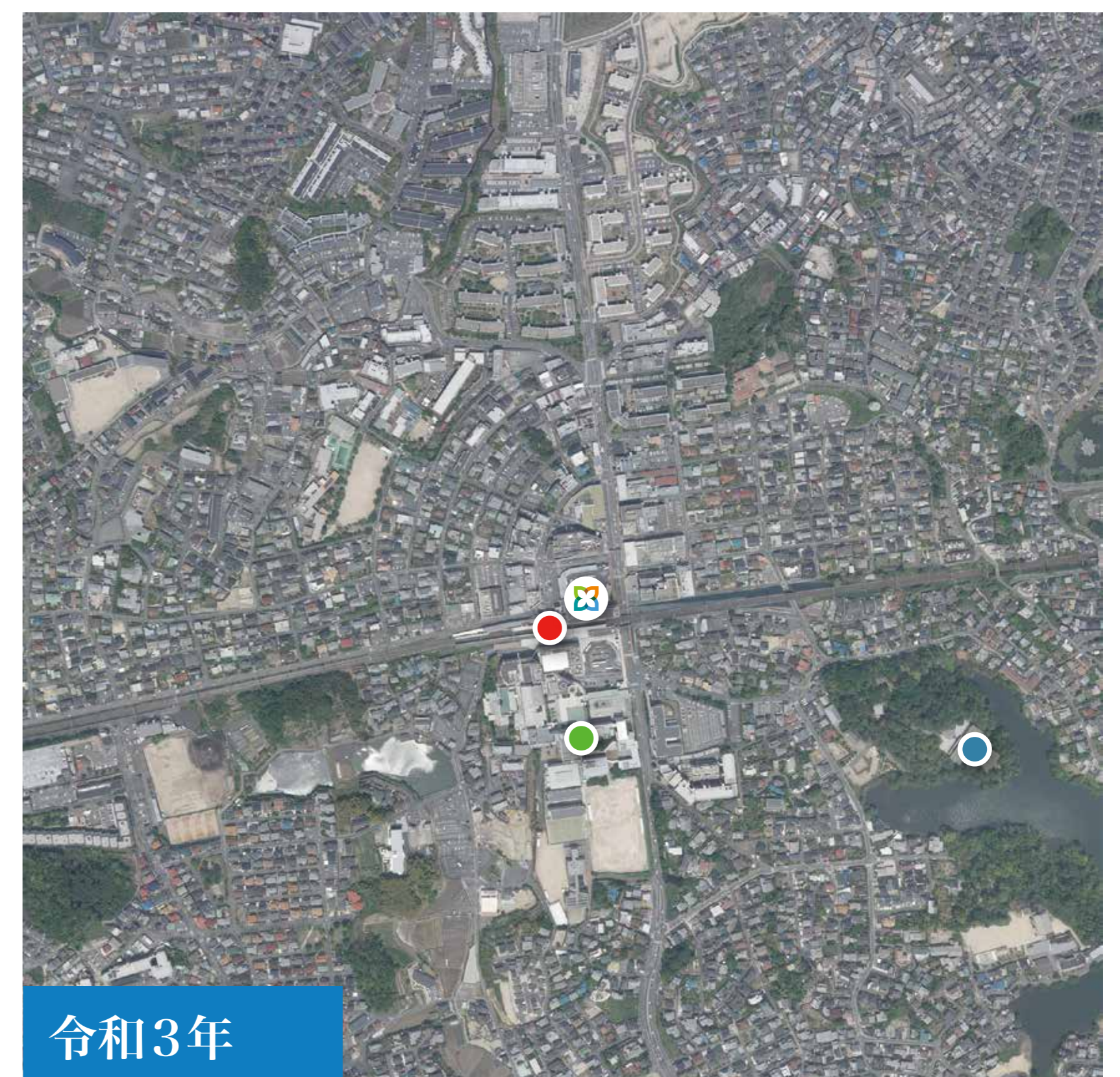
上空からみた学園前エリア



昭和23年



昭和54年



令和3年

: 現在地
 : 大和文華館 : 帝塚山学園 : 学園前駅

出典：国土地理院「地図・空中写真閲覧サービス」(一部加工)

編集：株式会社コロモチ